

寄贈品コーナー

描かれた平塚空襲 ―空襲体験絵画展―

2012年 8月1日（水）～9月5日（水）

博物館ではこれまで「平塚の空襲と戦災を記録する会」において、平塚空襲の体験者からの証言の収集とその記録を続けてきました。しかし、体験者も高齢化し、あるいは故人となられ、空襲の記憶は風化しつつあります。

そこで、空襲の体験を後世に伝えるためには言葉だけでなく、視覚的にも記録を残す必要があると考え、2008（平成20）年から空襲体験者の方々を対象に平塚空襲の体験、情景を描いた絵を募集してきました。

本展示ではこれまでお寄せいただいた空襲体験絵画を一堂に紹介いたします。そこに描かれた平塚空襲の様子は様々ですが、みな体験者それぞれの方のつらい記憶です。これらの絵を通して、戦争の悲惨さとともに平和の大切さを考えていただければ幸いです。



豊田道を逃げまどう市民
(渋谷千鶴子作 空襲体験紙芝居「おもいでなのつ」 当館蔵)